

項目	説明	
試料・情報の 利用目的 及び 利用方法	研究課題名	切除可能膵癌における modified Glasgow Prognostic Score(mGPS)の意義
	研究対象者	2013年1月から2022年12月までに当院で根治切除を行った膵癌患者のうち、切除可能(R)膵癌と診断され、術前補助化学療法でGS療法を施行した後に、切除を行った症例を対象とした。
	研究目的	膵癌患者において、潜在的悪液質を反映して栄養評価の指標である modified Glasgow Prognostic score(mGPS)は予後に関連することが報告されている。膵癌において、術前化学療法治療が標準的となっている一方で、術前治療に伴う mGPS の変化と予後の関連に関する研究は十分ではない。今回我々は術前 Gemcitabine+S-1 (GS療法)を行った切除可能膵癌患者における mGPS と予後との関連について検討を行った。
	研究方法	データベースより抽出した対象症例群を統計ソフト EZR を用いて解析する。
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所などの情報を削り、容易に個人を特定できないように研究用の番号(識別コード)で管理します。個人と識別コードを照合できるようにする対応表を作成しますが、パスワードロックや鍵をかけて厳重に保管し、院外へ提供することはありません。
	研究期間	西暦 2024 年 3 月 18 日～西暦 2024 年 12 月 31 日
	利用又は提供を開始する時期	[<input checked="" type="checkbox"/>]総長が研究実施を許可した日 [<input type="checkbox"/>]西暦 年 月 日頃(研究の進捗によって前後いたします)
利用する試料・情報の項目(チェック[X]が入った項目を利用します)	[<input type="checkbox"/>]試料:	[<input type="checkbox"/>]血漿、[<input type="checkbox"/>]血清、[<input type="checkbox"/>]全血、[<input type="checkbox"/>]末梢血から抽出した DNA、[<input type="checkbox"/>]病理検体(具体的に記載:____)、[<input type="checkbox"/>]尿、[<input type="checkbox"/>]糞便、[<input type="checkbox"/>]唾液、[<input type="checkbox"/>]胸水、[<input type="checkbox"/>]腹水、[<input type="checkbox"/>]脳脊髄液、[<input type="checkbox"/>]毛髪、[<input type="checkbox"/>]その他(具体的に記載:____)
	[<input checked="" type="checkbox"/>]情報:	[<input checked="" type="checkbox"/>]診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[<input checked="" type="checkbox"/>]年齢、[<input type="checkbox"/>]生年月日、[<input checked="" type="checkbox"/>]性別、[<input checked="" type="checkbox"/>]既往歴、[<input checked="" type="checkbox"/>]併存疾患、[<input type="checkbox"/>]外来日・入院日・退院日、[<input checked="" type="checkbox"/>]臨床検査値、[<input checked="" type="checkbox"/>]放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[<input checked="" type="checkbox"/>]臨床所見・経過(予後追跡データを含む)、[<input type="checkbox"/>]ゲノムデータ、[<input type="checkbox"/>]看護記録、[<input type="checkbox"/>]その他(具体的に記載:____)
試料・情報を利用する者の範囲	当センター研究責任者	所属・氏名 高橋大志
	共同研究機関および責任者	なし
	その他の機関	なし

	外国へ提供する場合	なし
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口		消化器外科(肝胆膵)・高橋大志・045(520)2222 利用停止のお申し出は2024年7月10日までをお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります